2019 年度の講義概要のデータベースを検索します。

カリキュラムツリーへのリンク

学部・研究科 Faculty/Graduate School	経	時間割コード Course Code	30890
科目名 Course title サブテーマ Subtitle	経済発展論２	授業形態/単位 Term/Credits クラス Class	秋/2
担任者名 Instructor	後藤健太	曜限 Day/Period	火1

授業概要 Course Description 到達目標 Course Objectives	**授業方法 / Teaching Methods**
	講義
	言語 / Language
	日本語(Japanese)
	授業概要 / Course Description
	本講義（経済発展論１および2)は、経済発展・開発経済学に関する基礎理論を習得し、途上国の貧困問題や産業化・工業化について分析する能力を培うことを目的とする。
	到達目標 / Course Objectives
	経済発展論２の到達目標は下記のとおりである： ①　途上国の農村についての理解 ②　途上国の産業化問題に関する理解 ③　ODA（政府開発援助）など、国際開発・協力についての理解
授業計画 Course Content	**授業計画 / Course Content**
	第1講　講義概要の説明と導入 第2～5講　農村経済（教科書11・12章） 第6～7講　社会関係資本・社会ネットワーク（教科書8章） 第8～10講　国際貿易・海外直接投資（教科書6章、参考書） 第11～13講　地域統合（参考書） 第14講　経済協力（教科書13章、参考書） 第15講　到達度の確認、講評、まとめ ただし、進捗状況によっては変更の可能性あり。
	授業時間外学習 / Expected work outside of class
	授業資料、教科書、ノートを読み返し、授業内容の理解に努めるよう予習・復習をすること。
成績評価の方法・基準・評価 Grading Policies / Evaluation Criteria/ Assessment Policy	**方法 / Grading Policies**
	定期試験を行わず、到達度の確認(筆記による学力確認)で評価する。 到達度の確認（筆記による学力確認）（100%）で評価する。
	基準・評価 / Evaluation Criteria・Assessment Policy
	試験および到達度の確認は、本講義の到達目標①～③の理解度に照らし合わせて評価する。ただし、履修者数が教室の試験定員を超えている場合には、定期試験期間中に試験を実施します。
教科書 Textbooks	戸堂康之 『開発経済学入門』 新世社 備 考 / Note========== 講義は指定された教科書を中心に進めていくが、トピックスによっては参考書『現代アジア経済論』の内容がメインとなる。
参考書 References **蔵書検索へ** Kansai University Library Catalog	遠藤環・伊藤亜聖・大泉啓一郎・後藤健太（編） 『現代アジア経済論－「アジアの世紀」を学ぶ－』 有斐閣 9784641184428
フィードバックの方法 Feedback Method	
担任者への問合せ方法 Instructor Contact	
備考 Other Comments	私語厳禁。最初の講義で授業の概要及び評価についての詳細な説明をするので、必ず出席すること。